

福井県・杉本知事を表敬訪問

～地震保険（自然災害保険）の普及促進について意見交換～

日本損害保険協会福井損保会（会長：庵 貴敏・東京海上日動火災保険株式会社福井支店長）では、8月2日（金）に杉本知事を表敬訪問し、地震災害や自然災害を補償する損害保険の普及促進について意見交換を行いました。

当日は、福井県損害保険代理業協会 尾崎会長・木下監事らと共に訪問し、能登半島地震における損保業界の対応や地震保険の加入状況などを説明した後、地震保険のさらなる普及促進について連携して取組みを進めていくことを確認しました。

福井県における地震保険の付帯率（火災保険にセットしている割合）は70.8%と全国平均の69.4%を上回っていますが、地震保険は被災後の再建資金として重要な役割を果たします。また、近年、日本各地で水害などによる被害も増加しています。

福井損保会では、引き続き、行政・関係団体の協力も得ながら、地震保険をはじめとする自然災害を補償する損害保険の普及促進に努めてまいります。



（懇談の様子）



（左から庵会長、尾崎会長、杉本知事、木下監事）